

あはれに
に
み
に
と
あ
あ

荒金大琳の書





荒金大琳君の書展の開催にあたって

九州の快男児、荒金大琳君が今度たくさんのお書作品と愛妻節子（文月葉々子）さんの詩を素材とした近代詩文書作品の新作個展を開催することなので一言お祝いの言葉を書きたいと思います。

大琳君は若冠十三歳にして、九州書壇の大御所首藤春草先生のもとに入門。大東文化大学中国文学科に入学し、私の高弟佐々木寒湖先生に師事。卒業後郷里大分県に帰って主に高等学校で教壇に立って書教育を実践する傍ら、書の勉強に励み、私の門をたたきました。二十六歳にして日展入選、爾来通算八回の入選を数え、創玄展では二十五歳で公募卒業、三十四歳でグランプリを受賞、一般部審査委員に昇格、毎日展では毎日賞を受賞、公募卒業後難関の会員賞を受賞、その後当番審査員二回就任と順調にエリートコースを邁進中です。

昭和六十二年、四十歳の時から別府大学の講師、そして今年の春から助教となり、作家活動と並行して書の学問的探求に力を注ぎ相ついで論文を発表し、作家としても大学の教官としても前途有望な書家として期待するもの極めて大であります。

大琳君は家庭にあつては四人の子供さんのよき父親として、また節子さんも主婦・母親業と書の勉強・指導にまた詩作にも八面六臂の活躍、さらに内助の功を発揮して大琳君が安心して書の道一筋に進める環境を整えておられることは本当に幸せなことです。

家族また門人・教え子の絶大なる支援のもと健康に留意して、将来九州書壇を背負って立つような息の長い作家に成長して欲しいものと希っています。

平成四年九月十八日

文化勲章受章者
社団法人創玄書道会理事長 金子 鷗亭

特別贊助作品

西村駿一先生



ふるさと



荒金大琳さんの書展によせて

大琳さんが別府大学で書道を指導されるようになって六年になります。その間、別府大学の書道教育活動はめざましい発展を遂げています。

ハワイ大学での講義・実習指導、中国復旦大学での書道の学習活動、台湾・台北市で開催された中国文化大学との合同書道展など、国際的に活動が展開され、多くの感動を残しました。又、書道の学習に参加している学生たちは、各種の展覧会で入賞・入選するなどすばらしい成果を挙げています。

大琳さん自身も今年の日展に入選(通算九回目)。研究論文の発表など積極的に行い、その成果が認められ、今年の四月から助教授になりました。大琳さんの努力を重ねられている姿を頼もしく拝見しています。また学生たちとの対応も情熱一杯で、笑いのある対話と密度の濃い指導には新しい実りを感じさせてくれます。

本年十月一日に別府大学短期大学部の大分校舎を開学いたしました。国際感覚を持った心豊かな人材の育成をめざし、地域社会に教育・学術研究を通じて貢献してゆきたいものです。この時に、大分市のトキハ会館にて荒金大琳書展が開催されることは大変喜ばしいことでもあります。大琳さんの意気込みがそのままこの会場にインプットされたようです。驚くような大作、奥さんの詩を優しく可愛らしく表現した作品、さらには書道人にとってはエネルギーの基となる古典をも作品として発表されたことに敬意を表します。更に精進され、書の奥義を極めるべく一層のご努力を期待します。

平成四年十月三十日



一氣 (500cm)

(202×102)



研墨驚池魚
入筆墨三昧

(240×124)



清風高節

(178×356)



(170×492)

無道入短

國語已心

身於慎勿

念受於慎

勿忘告譽不

忍道氣

漢崔子玉座右銘之一
大觀書

無道人之短
無說己之長
施人慎勿念
受施慎勿忘
世譽不足慕

(182×227)